

(別紙1)

単元名 じしゃくのせいしつ(10時間)

学習指導要領の項目 A(4)ア(ア)(イ)イ

主な学習活動	時間	重点	記録	検討改善	評価規準 【評価の方法】
いろいろな物に磁石を近付けた様子を基に、気付いたことや疑問に思ったことを出し合い、磁石の性質について調べる問題を見いだす。(本時)	1	思	◎	○	思考・判断・表現①/【発言分析・記述分析】
前時で児童が見いだした問題を確認する。	2	態	◎		主体的に学習に取り組む態度①/ 【発言分析・行動観察】
いろいろな物に磁石を近付けて、磁石に引き付けられるかを調べる。(実験1)		知			知識・技能③/【発言分析・行動観察】
鉄は磁石に引き付けられることをまとめる。 電気を通す物と、磁石に引き付けられる物を、学んだことを生かして、身の回りの物を分類する。	1	知			知識・技能①/【発言分析・記述分析】
磁石を近付けたり遠ざけたり、間に物を挟んだりして、磁石が離れた鉄を引き付けるのかを調べる。(活動)	1	思			思考・判断・表現①/【発言分析・記述分析】
磁石の極について知り、極の性質を調べる。(実験2)	1	知			知識・技能③/【発言分析・行動観察】
磁石の極の性質をまとめる。	1	知	◎		知識・技能②/【発言分析・記述分析】
磁石に付けた鉄の釘が磁石になっているかを調べる方法を考え、調べる。(実験3)	2	思	◎	○	思考・判断・表現①/【発言分析・記述分析】
磁石に付けた鉄の性質についてまとめる。	1	知	◎		知識・技能①/【発言分析・記述分析】 知識・技能②/【発言分析・記述分析】
磁石の性質について、学んだことをまとめる。		態	◎		主体的に学習に取り組む態度①/ 【発言分析・行動観察】

単元計画について

- ① 単元計画を作成する。
- ② チェックリストの結果を基に手立てを選択し、下記空欄に○印を記入する。
- ③ 単元内で「検討・改善」する活動を行う場面例を上記計画(色付き場面)で把握する。

○印	伸ばす側面	手立て
	思考の基盤	事象提示の際に比較を行うことで、差異点と共通点に気付かせ、児童に疑問を持たせる。
	探究的思考	児童が既に持っている知識や考えを想定し、そこにずれを生じさせるような事象提示を行う。 友達の考えが科学的な考えか否かについて検討させ、非科学的と感じる点について質問を行わせる。
	合理的思考	児童から出てきた気付きや疑問を、教師が価値付け・整理・焦点化し、そこから理由を考えさせる。
	反省的思考	「みちがえる質問集」を活用し、自分や友達の考えを見直す経験を積ませる。
	懐疑的思考	話し合いを通して友達の考えを見直す経験を積ませる。